

「景観開花。2015」募集要項

1. 企画要旨

高度経済成長期の日本では、早急な社会基盤整備が求められ、場所性を無視した画一的な土木構造物が多数生み出された。しかし、インフラ施設がある程度拡充した現代においては、「量」から「質」への価値転換が行われ、その場所が持つ意味・役割に合わせた土木デザインを求める機運が高まりつつある。そのため「景観開花。」では、土木デザインに関心のある若者がその力を試せる場所を提供するとともに、多くの人々へ向けて土木デザインの可能性を示すという趣旨のもと、土木構造物を設計テーマに据えて設計競技を実施してきた。

近年において「景観開花。」は生活の基盤である『まち』を主軸においたテーマ設定を続けてきた。特に昨年度は、「土木構造物の κατηγοリーを指定し、その中で『まち』をよくする提案」を求める従来のテーマ設定から、「『まち』の理想をテーマに掲げ、その理想を実現させるための土木デザインの提案」を求めるテーマ設定へと方針を一新した。土木構造物の κατηγοリーを指定しないことで、より自由な発想から『まち』への提案を求めるためである。

そこで今年度の「景観開花。」も昨年度のテーマ設定方針を継承し、『まち』についてのある「理想」をテーマとして設定する。応募者にはその理想を実現させる土木デザインの提案、また理想を実現させた『まち』の未来について各自の想いを巡らせて欲しい。50年、100年と長期間その役目を全うする土木構造物だからこそ、土木デザインには『まち』の未来を変える可能性が秘められているのではないだろうか。

最後に、「景観開花。」を通して東北の地から発信されたアイデアが、これからのより良い生活、そして復興への一助となることを切に願っている。

2. 設計競技

2.1. 設計テーマ

「活かす」

2.2. 設計条件

- ・ 『まち』の土木資産を活かし、『まち』の持続性を高めるような土木デザインを提案すること

- ・ 土木構造物、土木施設、若しくはそれらの機能を有する物の建設又は再整備を中心とした提案とすること
 - － 建築物を設置する場合は、上記の条件を満たしていること
 - － 実在する場所を対象地とすること
 - － 地質調査や構造計算の必要はないが、構造の現実性は確保すること

2.3. 対象者

- ・ 2015年4月1日現在、大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校・高等学校に籍をおく学生、及び経験年数5年以下の社会人。グループでの応募も可。
- ・ 仙台で行われる公開最終審査会に参加できること。

2.4. 提出物

以下の3点を作品提出条件とし、締切日までに全てをまとめて提出すること。

1) 設計図面

提案の意図を表現する図面（縮尺自由）および説明文。A1 サイズ（594mm×839mm、縦横は問わない）のケント紙またはそれに類する厚紙1枚に収めること。

2) 設計模型

提案する『まち』が理解できる模型。縮尺は自由だが、模型サイズは $1\times 1\times 1\text{ m}^3$ 以内に収めること。

3) CD

図面データをPDFファイルに変換し、CD-Rにデータを移したもの。ファイル名は代表者名とすること。

2.5. その他

- ・ 応募作品は未発表作品に限る。
- ・ 応募は1エントリーにつき1作品に限る。
- ・ 1人につき1エントリーに限る。
- ・ 原則、提出物の返却は、指定の期間までに東北大学工学部建築・社会環境工学科まで直接引き取りに来られる場合のみ受け付ける。
- ・ 応募作品の著作権は、応募者に帰属する。
- ・ 主催者および実行委員会は、本設計競技の趣旨の範囲内で著作権者名を明示した上で、懇親会報告書、記者発表資料、作品集、Web等を通じて、応募作品および提案されたアイデア、情報等を公表できるものとする。
- ・ 課題に対する質疑応答は受け付けない。規定外の問題は応募者の自由決定とする。

3. 審査

3.1. 審査委員

審査委員長 篠原 修

審査委員 五十嵐 太郎

木下 斉

西村 浩

八馬 智

(敬称略／五十音順)

3.2. 審査方法

一次審査会を行い、審査委員は入賞作品（5点前後）を決定する。後日、公開最終審査会を開催し、入賞者は作品解説とそれに対する質疑応答を行う。審査委員はそのプレゼンテーションを踏まえ、最優秀賞と優秀賞を決定し、講評を行う。

3.3. 賞金

最優秀賞（1点）： 20万円

優秀賞（1点）： 10万円

佳作（数点）： 4万円

特別協賛企業賞（数点）： 2万円

参加賞（全作品）： 審査委員からのコメント

4.日程

- ・ エントリー受付開始 平成27年7月13日
- ・ エントリー締め切り 平成27年10月9日
- ・ 作品提出締め切り 平成27年10月23日
- ・ 一次審査会 平成27年11月7日
- ・ 公開最終審査会 平成27年11月28日

5. 会場

- 一次審査会： 東北大学 青葉山キャンパス
公開最終審査会： 未定(仙台市内の会場を調整中)

6. 作品の提出

6.1. 宛先

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-06
東北大学工学部・工学研究科 人間・環境系事務室 気付
201 土木演習室 A 景観開花。実行委員会 宛

6.2. 作品の梱包

- ・ エントリー受付完了メールにある点線部分を切り取り、設計図面と模型の裏面に貼付してください。
- ・ 設計図面と模型の表面には、氏名や所属先を明記しないでください。
- ・ 模型を分割して梱包する場合には、組み立て方を明記してください。

6.3. 提出方法

- ・ 提出の際には、郵送または各社宅配便サービスをご利用ください。
- ・ 配達時間を平日 9 時から 15 時までの間にご指定ください。(10 月 23 日当日消印有効)
- ・ 直接持参も可能です。その場合、あらかじめ到着予定時間を実行委員会までお知らせください(締切日 23:59 まで)。また、この場合にも梱包用の箱をご用意ください。
- ・ 発送完了後、発送完了の旨と作品タイトルおよび作品の対象地をメールにてお知らせください。